

H P POD発売によりコンテナ型データセンター事業に 参入してビジネスの成長をサポート ～同時に迅速かつコスト効率の高い データセンター構築のための総合サービスを提供～

- 本年7月、日本ヒューレット・パッカー（以下、日本HP）は、コンテナ型データセンター「HP Performance Optimized Datacenter（以下、HP POD）」と、HP POD導入のコンサルテーションから導入作業、保守までをカバーする「HP PODプレミアムサービス」を発売し、新たにコンテナ型データセンター事業に参入することを発表した。また、HP POD設置にあたり必要になる建屋および基礎建築、電源敷設、UPS（無停電電源装置）などの設備までを包括的に提供するため、竹中工務店と協業を開始する。今後、日本HPは、お客様の要望に応じて竹中工務店の支援を得つつ、迅速かつコスト効率の高いデータセンター構築を推進し、多様化するデータセンター構築ニーズに総合的に対応していく。

コスト効率の高い データセンターの構築に向けて

昨今のクラウドコンピューティング需要の高まりにより、データセンター構築需要も今後、高い成長が見込まれている。IDC Japanの調査によると、2010年から2015年にかけて、クラウドコンピューティングサービス（AaaS、IaaS、PaaS）の市場規模は5.6倍にもなり、2015年時点では2,500億円を超える市場規模になると予測されている。同時に、従来の高機能型データセンター需要に加え、東日本大震災の影響等もあり、「移設や災害対策用センターの迅速な建設」、「建設、構築コストを抑えた基本機能特化型データセンター構築」、「電力事情を考慮した、より電力効率の高いデータセンターの構築」、あるいは「迅速なデータセンター立ち上げのための遊休資産活用」といった新たなお客様のニーズ

も顕在化している。こうした柔軟かつ迅速に、コスト効率の高いデータセンターを構築したいというニーズに、包括的に対応できる製品、サービスの提供が求められている。

このような状況の中、日本HPは、新たなニーズへの対応や、お客様が抱える課題の解決をサポートするために、コンテナ型データセンター製品「HP POD」と関連のコンサルティング、導入作業、保守までカバーする総合サービス「HP PODプレミアムサービス」を発売し、コンテナ型データセンター事業に参入した。

従来と比較して37%以上の 電力使用効率改善を実現

今回発表されたHP POD 20cは20フィートのコンテナ型データセンターで、外気温度の影響を受けることが少なく、安定してIT機器を冷却できる水冷方式を採用してい

る。データセンター全体で消費する電力を、IT機器とそれ以外の設備がどのような比率で消費しているかを表すPUE（Power Usage Effectiveness：電力使用効率）は1.25と、従来のデータセンターと比較して37%以上の電力使用効率改善を実現している。20フィートのコンテナの中に、高さ50U（1Uは4.4cm）のITラックを10本設置可能なので、1Uラック型サーバを最大で500台搭載できるスペースが確保されている。また、それらのIT機器の稼動に必要な電源として、最大290kwの電源を提供することが可能だ（別途外部からの電源入力が必要）。これにより多数のIT機器を搭載できるので、業界最高水準の実装密度を実現した。なおHP PODの価格は、オープンプライスである。

また、HP POD導入のコンサルテーションから導入作業、保守まで

をカバーするHP PODプレミアムサービスは、コンテナ型データセンター導入のための総合ソリューション・サービスである。本サービスは、「HP／竹中データセンターアジリティサービス」、「HP PODスタートアップサービス」、「HP POD 保守サービス」から構成されており、お客様はそれぞれのニーズに合わせて最適なサービスを選択することができる。

◆HP PODスタートアップサービス：

HP PODの稼動に必要な空調や電気、コントロールシステムや各種計測機器のセットアップに加えて、HP PODとIT機器の稼動確認と動作確認までを含めたサービス。これによりお客様は、HP PODの稼動からHP PODに大量に導入されるIT機器までを迅速、かつスムーズに使用開始することができる。サービス提供価格は、1台目14,805,000円（税抜 14,100,000円）、2台目以降8,820,000円（税抜 8,400,000円）

◆HP POD保守サービス：

HP PODを対象とした保守サービスで、HP PODを対象とした年4回の定期点検作業、故障時の部品提供とオンサイト故障修理対応を含んでいる。サービス提供時間は、平日8：45～17：30。1年間のサービス提供価格は、9,103,500円（税抜 8,670,000円）

データセンター開設までの工期を最短6ヶ月に短縮

「コスト効率の向上」と「迅速性の向上」というデータセンター建設における顧客要望が顕在化する一方で、お客様側の施設管理部門とIT部門、もしくはソリューションを提供する側である建設会社とIT企業の連携がうまく行われず、スケジュールのずれや、床荷重、電源供給能力など設備面での不整合を生み出し、工期の長期化とコスト増が生じる要因になっていた。日本HPでは、このような問題の解決に向け、竹中工務店の協力を得つつ、施設とITを1つのパッケージで提供するサービス「HP／竹中データセンターアジリティサービス」を企画し、顧客への提供を開始する（価格は個別見積り）。

HP／竹中データセンターアジリティサービスは、HPのデータセンターファシリティコンサルティングであるHPクリティカルファシリティサービス^(*1)と竹中工務店の施設建設に対するノウハウを融合したもので、HP PODを含むデータセンターを新規に計画しているお客様が迅速にデータセンター構築を実現できるよう、サービスをテンプレート化している。お客様はデータセンター構築にあたり、自社のニーズに合わせてテンプレートを選択することで、ITと建物・設備双方を包含した企画立案が可能となる。これにより、企画にかかる時間を大幅に節約できるだけでなく、企画そのもの

がITと周辺設備を組み合わせたものとなっているため、従来、必要としていた約24～36ヶ月というデータセンター開設までの工期を、HP PODを活用することで、最短6ヶ月^(*2)に短縮することが可能となる。

日本HPと竹中工務店の協業では、まず日本HPが「ビジネス要件を充足するためのデータセンターとIT機器の設備・設計に関するコンサルティング」を実施する。並行して竹中工務店が既存資産の評価を行い、HPのコンサルティングに基づきHP POD関連の施設の建設および設備の設計・施工を行う。関連の建屋、設備が完成した後は、日本HPがIT機器の設置を行い、周辺設備については竹中工務店が保守を担当する。このように、日本HPと竹中工務店両社が機能的に連携することで、データセンターの企画から設計、施工、保守までトータルにサポートすることが可能となった。

*1：2008年に買収したEYP Mission Critical Facilities社のノウハウによるコンサルティングサービス。

*2：データセンター構築における設計段階から、施工、POD導入、稼動を開始できる状態までの目安となる期間。PODのみの提供であれば3ヶ月を想定。

●お問い合わせ先●

日本ヒューレット・パッカー
カスタマー・インフォメーションセンター
TEL：03-6416-6660
ホームページ：
<http://www.hp.com/jp/>